

東京ヒルトンインターナショナル労働組合

ヒルトン東京は、東京オリンピック開催に際し、国際ホテル建設促進に則り 1963 年 6 月に建設されました。

当初は東京急行電鉄(東急)との合弁会社(東京ヒルトンホテル株式会社)を通じて「東京ヒルトンホテル」として開業しました。

その後 1984 年に現在の西新宿に移転しました。ヒルトンの 100%子会社「日本ヒルトン株式会社」として、日本初の完全外資によるシティホテル「東京ヒルトンインターナショナル」となりました。その後、名称を現在の「ヒルトン東京」へ改称しました。

現在ホテルがある西新宿には、ハイアットリージェンシー東京、パークハイアット東京、京王プラザホテルなどの大型シティホテルが立ち並ぶ競合地域となっています。

東京ヒルトン労働組合の結成は 1965 年(昭和 40 年)3 月 22 日 です。

ヒルトン連合会の中では1番歴史のある労働組合です。

現在までに 5 人の執行委員長が東京ヒルトン労組を担ってきました。

現在の 5 代目執行委員長は、いつも客観的に物事を見ており、時には厳しく、時にはふざけながら(?)も、執行部を引っ張ってくれます。

今期は執行委員のメンバーがガラリと変わり、20 代前半が 3 名もいます。

30 代の私は若いパワーに驚かされる事が多々ありますが(笑)、元気のなかった東京ヒルトン労組に元気を取り戻す良いチャンスだと思っています！！

今期は組織拡大・執行部内教育・組合員教育・労働条件などやらなければいけない事は山積みですが、組織の数・結束力を上げるために執行部全員で頑張っていきたいと考えています！

